

アオベンケイ

Hylotelephium viride (Makino) H. Ohba
ベンケイソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数ともにごく限られ、県内では1地区のみ。林内にごく稀に生育し、稀少である。

分布

本州中部以西～九州に分布。県内では嶺南西側、及び奥越等に分布する。

種の特徴

山地の樹上や岩上に生育する多年生草本。茎は高さ20?50cm、斜上する。葉は対生、時に互生し、卵形、長さ3?6cm、葉柄は長さ1～2cm。多肉質で不明瞭な波状の鋸歯がある。花期は9?10月。茎の先に球状の散房花序を出す。花は淡黄緑色、葯は橙褐色。

生育を脅かす要因

森林伐採、産地局限、園芸採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1998）、若杉孝生（1973）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○					○	○			○			○	○	

タコノアシ

Penthorum chinense Pursh
タコノアシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

県内では稀産種で、開発等による湿地環境の消失や生育環境の悪化により、絶滅の危機に瀕している。

分布

本州～九州に分布。県内では嶺北地方の一部で確認されている。

種の特徴

泥湿地や河原等で、水位の変動する場所に多く生える湿地生の多年草。地中にある茎の基部から、ふつう数個の走出枝を出す。茎の地上部は直立し分枝せず、高さ30～80cm、無毛で淡紅色を帯びることが多い。8～10月頃、長さ4～12cmの花序に黄緑色の花を付ける。

生育を脅かす要因

生育地である湿地の開発、河川改修のほか、土地造成、植生遷移等による生育環境の消失や悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県自然保護課編（2004）福井県植物研究会（1998）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																	○

フサモ

Myriophyllum verticillatum L.
アリノトウグサ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

従来県内に広く分布していたと考えられるが、開発や水質悪化によってめったにみられなくなっているため、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

分布

北海道～四国、九州に分布する。県内では若狭町、敦賀市、あわら市、鯖江市、大野市で確認されている。

種の特徴

池や沼等に生える多年草。葉は長く伸びて、分枝する。水中葉は4個まれに、5個輪生し、羽状に深裂し、裂片は糸状でホザキノフサモより数がやや少ない。花期は5～7月。花序は穂状で、水面より突き出て直立。石果は卵状球形で長さ2.5～3mm。

生育を脅かす要因

池沼開発、河川工事、水質汚濁。

参考文献

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○							○	○		○	